

先輩と共同製作

# 平安時代の雰囲気に浸る

九里祭展示

「平安雅び展」| 8/29.30

図書委員長 小野香保里

——小物や、大道具をつくりながら発見したことがあり、この時代がすこし立体的に見えてきました。——



「やられて下さい」という強い希望と熱弁により、今年の九里祭は「平安雅び展」に決まりました。このテーマは三年女子の「百人一首」大好き、「陰陽師」大好きが嵩じてなんとしてもこの時代の雰囲気を文化祭で作りたいという思いがあつたのです。九里祭の展示はこれが力となり一、二年を巻き込んでつき進んでいったようになります。

り、  
的に

これについては、今年卒業した図書委員の先輩方五人に夏休みを返上して毎日手伝つてもらいました。色づかいといい、形といい最高のものが出来、先輩のレベルの高さを知りました。中でも狩衣の衣装

した。年表は平安時代の米沢はどうだったかなどを調べようとした。米沢は坂上田村麻呂がいた東北の民、蝦夷（えみし）の反乱をおさえていたという時代で、成島八幡神社に彼の伝説が残っているそうです。一番大変だったのは立体展示のゲループでした。平安時代の部屋の再現、看板、安倍晴明と臣の像、そして牛車です。

九里学園高等学校  
図書委員会  
印刷(株)川島印刷  
TEL 21-5511(代)

いつもの国語Aの教室は香がたかれ、姫や狩衣姿の生徒が几帳の前にかしこまつてゐるという状況は本当に平安時代の世界でした。観に来て下さった人の中には、外国人の方も何人かおられ、香や楽の曲が響くこの部屋は、不思議な体験となつたのではないか。

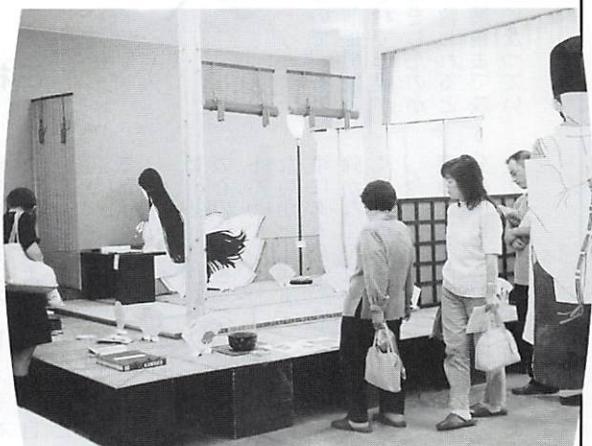
く報われず、悟りを得ること  
もできないという思想)など  
に代表される悲観的な考えが  
あつたこと、そして「ものの  
け」など予測できないものに  
対する恐怖心がいつも底辺に  
あつたのだと思いました。

を作つてもらつたことは最喜びで、それを着た男子生徒はみんなりりしく見えました。

け、厄除けが重要視されていました。平安時代は雅やかな反面、人々には末法思想(修業しても今さ

男子生徒がぎりりしく見えた

## 先輩製作の狩衣を着る かりぎぬ



# 図書館だより

2003.10.23

(2)

## 先輩からのメッセージ

### ひたむきさを思い出した

#### 九里祭に参加して

石井亜沙美

ぶりに書き綴つた去年の自分  
に報告したい気分だ。それ程  
までに私ときたら何の抵抗感  
も違和感も持たずに作業に没  
頭していた。他の面々も同じ  
ような感じだったのだ。  
私はその過程で、高校卒業  
以来、久しく忘れていたひた  
むきさを思い出していた。自

分だけのペースで事を進めて  
いる。それは確かに、自由  
で楽しい。間違いない。けれ  
ど、祭り行事の、あの巻き込  
まれていくようなスピード感  
は、なかなか味わえない。そ  
の中で、いつの間にか懸命に  
なっている自分に気付いて、  
何やつてるんだろうと思いつ  
ながらも、満たされて、皆と笑  
つてられる自分がいる。こ  
れは集団行事でしか得られな  
い充足感ではないだ  
ろうか。

今、高校生をやっ  
ている皆は、本当に  
楽しむことでの  
きる時間の中に  
いると思う。三  
年生は残り少な  
い行事に洗濯機

二〇〇三年の暑い夏の  
日、さわやかな夏服の九  
里生に紛れて私服の集団  
が活動していた。  
あの五名は卒業生。そ  
う昨年で燃えつけたはず  
の祭魂は何故かここに来て  
不死鳥の如く蘇ったの  
だ。

今年の九里祭も相変わ  
らずの高いクオリティで見物  
者を魅了したあの展示製作に  
恥ずかしながら、我々卒業生  
も参加させてもらつたのだ。  
最後の九里祭と寂寥感たつ  
ぶりに書き綴つた去年の自分  
に報告したい気分だ。それ程  
までに私ときたら何の抵抗感  
も違和感も持たずに作業に没  
頭していた。他の面々も同じ  
ような感じだったのだ。  
私はその過程で、高校卒業  
以来、久しく忘れていたひた  
むきさを思い出していた。自

だつただろう。  
私はその過程で、高校卒業  
以来、久しく忘れていたひた  
むきさを思い出していた。自

分だけのペースで事を進めて  
いる。それは確かに、自由  
で楽しい。間違いない。けれ  
ど、祭り行事の、あの巻き込  
まれていくようなスピード感  
は、なかなか味わえない。そ  
の中で、いつの間にか懸命に  
なっている自分に気付いて、  
何やつてるんだろうと思いつ  
ながらも、満たされて、皆と笑  
つてられる自分がいる。こ  
れは集団行事でしか得られな  
い充足感ではないだ  
ろうか。

今、高校生をやっ  
ている皆は、本当に  
楽しむことでの  
きる時間の中に  
いると思う。三  
年生は残り少な  
い行事に洗濯機



の中に飛び込むくらいの勢い  
で、目を回してラリつてくれ。  
いつもいつでも、全力疾走  
できるようなスタミナは持ち  
合わせなくてもいい。疲れ切  
つて死ぬような根性はいらな  
い。ここならという場面でそ  
れぞ頑張つてくれです。

最後に、卒業生の横暴を許  
してくださいました。図書委員の皆  
様、並びに先生方に御礼を述べ  
たいです。

ありがとうございました。

八月四日、米  
沢工業高校を会場と  
して、三校合同読書会が  
行われました。テキスト  
は、デイヴ・ベルザー著の  
「It」と呼ばれた子」で  
した。約五〇名の参加でした。  
グループに分かれ十四の質問  
に対して話し合いをしまし  
た。

この話しは、デイビットが  
母の虐待から救い出される所  
かから書かれているので、著者  
が救われると言う前提で読み  
進められます。それで母親が  
どんなひどい虐待をしたのか  
を読んでいても、救われるよ  
うな気がしてならない。  
わかっているので最後まで読  
み進められるようになつてい  
ました。

## 虐待は連鎖するのでは

二年四組

東海林 夏 美

### 三校合同読書会

## 夏休みの8月4日 米工業高校で 「“It”と呼ばれた子」の読書会

から書かれているので、著者  
が救われると言う前提で読み  
進められます。それで母親が  
どんなひどい虐待をしたのか  
を読んでいても、救われるよ  
うな気がしてならない。  
わかっているので最後まで読  
み進められるようになつてい  
ました。

虐待を少しでも改善するに  
は、虐待を受ける人とする人  
の心の治療をする、セラピス  
トやカウンセラーが必要では  
ないかと思います。まず心の  
中にある恐怖や悲しみを取り  
除かなくては虐待はずっと続  
くと思うからです。

今回の読書会で人の心理の  
深いところに触れ、みんな自  
分の中にひそむ暗い部分をみ  
たのではないかと思いまし  
た。

出された質問の中に、「虐  
待はなぜ起るか」とあります  
。意見として「虐待して  
いる親が子供の時に、自分も  
親に虐待を受けていたからで  
は?」と言う意見が出ました。  
虐待にかぎらず、暴力や、自  
分より弱い者をいじめたりす  
る行為は止まることなく、さ  
れた相手も、それから受けた  
精神的ストレス、トラウマを  
自分と同じような相手に、自  
分がやられた様な事をすると  
言う、連鎖のような傾向があ  
ると私は思いました。

虐待を少しでも改善するに  
は、虐待を受ける人とする人  
の心の治療をする、セラピス  
トやカウンセラーが必要では  
ないかと思います。まず心の  
中にある恐怖や悲しみを取り  
除かなくては虐待はずっと続  
くと思うからです。

今回の読書会で人の心理の  
深いところに触れ、みんな自  
分の中にひそむ暗い部分をみ  
たのではないかと思いまし  
た。

# 保原高校の清楚な生徒に好感

腰パンも超ミニもない

## 7月4日 図書委員研修旅行



七月四日テスト終了後、すぐ私達図書委員会は研修旅行に出発しました。初めて医王寺を見学、この寺は義経の家来佐藤兄弟を奉つてあるところで、芭蕉も「奥の細道」の旅の途中訪ねているそうです。参道のあじさいがきれいでした。

福島県立美術館は、橋本章の特別展が開催されていました。とてもインパクトのある作品が多くかったです。

その後、保原高校で交流会をしてきました。初めはなかなか話がはずみませんでした

七月四日テスト終了後、すぐ私達図書委員会は研修旅行に出発しました。初めて医王寺を見学、この寺は義経の家来佐藤兄弟を奉つてあるところで、芭蕉も「奥の細道」の旅の途中訪ねているそうです。参道のあじさいがきれいでした。

福島県立美術館は、橋本章の特別展が開催されていました。とてもインパクトのある作品が多くかったです。

その後、保原高校で交流会をしてきました。初めはなかなか話がはずみませんでした

(二年 楠 裕希)

見えたことのないデザインでした。服装検査があり、ストレートパームをかけてはいけない事など、校則はきびしいようでした。校内は、腰パンにしている人や超ミニにしている生徒を見かけませんでした。図書委員の方々にはあたたかく迎えてもらつて、仲良くなることが出来、別れでは最後まで手を振り続けてくれ、嬉しかつたです。

最後に飯坂温泉の芭蕉が入つたと話し合いのテーマは、自分の理想の生き方、動物にとつての幸せとは、自由の代償、親離れ、アウトドアの楽しみについてでした。話に花を咲かせた班もあれば、淡淡と話を進めた班もありました。我

が班は、アウトドアの楽しさで、S君の経験談で盛り上がりました。

S君は、父親と共に、キャンプ場の湖でカヌーを楽しんでいました。

彼曰く、「技術がない遊びはほどほどに。今は、自然と関わり合うことが少なくなりましたが、男子は登山、キャンプ、釣りなどの経験をしている人がいることにむしろ私は驚きました。

また、「ガク物語」のテーマである、子の親離れのことでは、息子が父親を越えるといったところを、短い話の中でうまく促しているなと思いました。



## S君のカヌーはひっくり返った

### 「ガク物語」読書会

三年六組 山 崎 奈津美

5月27日

五月二十七日、図書委員だけの読書会で、椎名誠さんの「ガク物語」を読みました。保原高校の制服は、あなたに多くなかつたです。しかし、地味だがしつかりした活動をしていました。

保原高校の制服は、あまり見たことのないデザインでした。服装検査があり、ストレートパームをかけてはいけない事など、校則はきびしいようでした。校内は、腰パンにしている人や超ミニにしている生徒を見かけませんでした。図書委員の方々にはあたたかく迎えてもらつて、仲良くなることが出来、別れでは最後まで手を振り続けてくれ、嬉しかつたです。

最後に飯坂温泉の芭蕉が入つたと話し合いのテーマは、自分の理想の生き方、動物にとつての幸せとは、自由の代償、親離れ、アウトドアの楽しみについてでした。話に花を咲かせた班もあれば、淡淡と話を進めた班もありました。我

が班は、アウトドアの楽しさで、S君の経験談で盛り上がりました。

S君は、父親と共に、キャンプ場の湖でカヌーを楽しんでいました。

彼曰く、「技術がない遊びはほどほどに。今は、自然と関わり合うことが少なくなりましたが、男子は登山、キャンプ、釣りなどの経験をしている人がいることにむしろ私は驚きました。

また、「ガク物語」のテーマである、子の親離れのことでは、息子が父親を越えるといったところを、短い話の中でうまく促しているなと思いました。

でいました。その日は風が吹いていたそうです。カヌーがバランスを崩した時に、突風が吹きカヌーは百八十度ひっくり返りました。S君は、全身ずぶぬれで、インドの修業僧のごとくタオル一枚で火にあたりました。父親は替えの衣服があつたのですが、S君はその格好のまま車で帰宅したそうです。後日、彼は三十九度の熱が出て三日間寝込んだとのことです。

彼曰く、「技術がない遊びはほどほどに。今は、自然と関わり合うことが少なくなりましたが、男子は登山、キャンプ、釣りなどの経験をしている人がいることにむしろ私は驚きました。

私の好きな(主)

森 絵都 著

# 「DIVE!!」の

# 沖津飛沫

三年七組

佐藤広子

飛沫は「海でしか飛ばない幻のダイバー」と称されてきた。しかし、コーチが何回も足を

進で、勇氣を絞りたために  
プールでの大会に出場すること  
とになった。飛沫の番がまわ  
つてくるたびに、うるさい会  
場が静まる。メインプールの  
一般客までが動きを止めて  
飛沫をみつめ、惹きつ

これはMDC（ミズキタイ  
ビングクラブ）所属の選手と  
コーチの話だ。私はその中で、  
最も好きな人物がいる。それ  
は、沖津飛沫だ。

いかにもダイバーという感じがするその名前がかっこいい。それが私の一番の好きな理由だ。もちろん他にもたくさん理由がある。しかし、それはこのシリーズを読み終わってから感じたことであり、読んでいる途中では全く感じられなかつた。というよりも嫌いだつた。

京し、プールでの練習に入ったからだ。津軽にいる彼女を残してまでも。そして何より、ダイブのこと全く知らない一般客が惹きつけられていることが腹立たしい。飛沫の何に、そんなに惹きつけられるのかが分からぬ。しかし分からぬと言ひながらも自分も飛沫に惹きつけられていることに気がついた。飛沫の魅力。それは、「ダイブ」という一つのこと。に夢中になり、つっぱるとかいうことかもしれない。それ



## 読書の楽しみ

長谷川和美 先生

本からも栄養を

最 てす

最近は、エッセイや心を和ませてくれる短編集などを読むことが多いので、今の年齢で味わえる感動や発見をするため、読書を楽しみたいと思っています。高校生の活字離れが聞かれますが、多くの本に触れ、沢山の栄養を吸收し

The image shows the front cover of a Japanese children's book titled "赤毛のアン" (Anne of Green Gables) by L.M. Montgomery. The cover features a black and white illustration of a young girl with curly hair, wearing a pinafore dress, standing in front of a large, two-story house with a prominent chimney. A small dog is visible at her feet. The title and author's name are printed in a decorative font above the illustration.

## 名著の伝記（二）

「赤毛のアン」は  
一度  
封印された

著者のモンゴメリーの性格が、アンに反映されていますが、彼女が実際この作品を書いていたときは、偏屈で人から嫌われていた祖母の看護を一人でしていた大変つらい時期だったのです。書くことで気分が晴れたといっています。

出来た原稿を五つの出版社に送るのですが、全部返されてしまい、屋根裏に封印します。数年後、探し物で箱につまづき、出てきたこの原稿を読み返してみて「悪くない」と思うのです。そして、再度送り込んだ出版社でたちまちベストセラーになり、一世紀を経た今も世界中の人の心を揺さぶる名作となるのです。

アンは、空想大好き少女、周辺の野山を「恋人の小径」(輝きの湖水)、古い農場は「ネコヤナギの宮殿」と名づけています。その中で沢山の失敗をし、ふりかかる不幸も希望に変えながら弾むように生きていきます。

編集後記

今回の卒業した分野に  
原稿を依頼したり、委員会  
の行事で特に印象に残った  
所を誌面に出るよう努力し  
ました。「ガク物語」「D-  
V-E!!」「赤毛のアーヴ  
」などと呼ばれた子のみ  
なさん読んでみて下さい。